

## [省令第8条の4の5(1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

(宛先) 長野市長 萩原健司 様

## 提出者

住所 長野市篠ノ井岡田200番地1

氏名 川中島建設株式会社

代表取締役社長 笠井 澄人

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-292-1341

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他  
その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川中島建設株式会社
事業場の所在地	長野市篠ノ井岡田200番地1
計画期間	2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月 31日

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	完成工事高 32億4,817万円
③従業員数	74名
④産業廃棄物の一連の処理工程	<pre> graph LR     A[産業廃棄物発生] --&gt; B[自社又は 委託により 運搬]     B --&gt; C[中間処理(委託) 又は 最終処分(委託)]     C --&gt; D[再生品の 有効 利用]   </pre>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 組織図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリー がら、廃アスファ ルト)・陶磁器くず(石 膏)	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず(石 膏)	廃プラスチック(廃 タイヤ、発泡スチ ロ)	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	排 出 量	1,205.40t	1.50t	48.90t	30.00t	6.30t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず		
	排 出 量	5.40t	305.60t	0.10t		
	(これまでに実施した取組)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>工場で建設資材を加工し、現場での端材の発生を抑制する。</li> <li>加工材料の搬入数量を適正に管理する。</li> <li>簡易梱包・再利用できる梱包材の使用を求め、梱包ごみの発生を抑制する。</li> </ul>						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリー がら、廃アスファ ルト)・陶磁器くず(石 膏)	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず(石 膏)	廃プラスチック(廃 タイヤ、発泡スチ ロ)	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	排 出 量	1,200.00t	1.00t	45.00t	25.00t	5.00t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	排 出 量	5.00t	300.00t	0.00t		
(今後実施する予定の取組)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>工場で建設資材を加工し、現場での端材の発生を抑制する。</li> <li>加工材料の搬入数量を適正に管理する。</li> <li>簡易梱包・再利用できる梱包材の使用を求め、梱包ごみの発生を抑制する。</li> </ul>						

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートくず、ガラス陶磁器くずは骨材等として再利用を図る。</li> <li>木くず、金属くず、廃プラスチック類は、再利用のための分別を徹底する。</li> <li>作業所内での分別を行い、混合廃棄物となる割合の削減を図る。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートくず、ガラス陶磁器くずは骨材等として再利用を図る。</li> <li>木くず、金属くず、廃プラスチック類は、再利用のための分別を徹底する。</li> <li>作業所内での分別を行い、混合廃棄物となる割合の削減を図る。</li> </ul>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリー がら、廃アスファ ト・陶磁器くず(石 膏等)	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず(石 膏等)	廃プラスチック(廃 タイヤ、発泡スチ ロ等)	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組)					
	【目標】					
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリー がら、廃アスファ ト・陶磁器くず(石 膏等)	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず(石 膏等)	廃プラスチック(廃 タイヤ、発泡スチ ロ等)	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組)					
	【目標】					
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリー がら、廃アスファ ト・陶磁器くず(石 膏等)	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず(石 膏等)	廃プラスチック(廃 タイヤ、発泡スチ ロ等)	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組)					
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリー がら、廃アスファ ト・陶磁器くず(石 膏等)	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず(石 膏等)	廃プラスチック(廃 タイヤ、発泡スチ ロ等)	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組)					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)、がら、廃アスファルト・レンガ片等)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	汚泥(上・下水、建設、その他)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)、がら、廃アスファルト・レンガ片等)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	汚泥(上・下水、建設、その他)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)、がら、廃アスファルト・レンガ片等)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	汚泥(上・下水、建設、その他)
	全処理委託量	1,205.40t	1.50t	48.90t	30.00t	6.30t	150.70t
	優良認定処理業者への処理委託量	9.00t	1.50t	48.90t	30.00t	6.30t	
	再生利用業者への処理委託量	1,205.40t	0.30t	24.30t	30.00t	3.10t	150.70t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0	0
	全処理委託量	5.40t	305.60t	0.10t	0.00t	0.00t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.40t	52.60t	0.10t			
(これまでに実施した取組)	再生利用業者への処理委託量	3.20t	284.10t	0.10t			
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

【目標】						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、レンガ片等)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	汚泥(上・下水、建設、その他)
全処理委託量	1,200.00t	1.00t	45.00t	25.00t	5.00t	130.00t
優良認定処理業者への処理委託量		1.00t	45.00t	25.00t	5.00t	
再生利用業者への処理委託量	1,200.00t	0.50t	22.50t	25.00t	2.50t	130.00t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	0	0	0
全処理委託量	5.00t	300.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量	5.00t	50.00t	0.00t			
再生利用業者への処理委託量	3.00t	280.00t	0.00t			
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類（実績値・計画値）											合計		
		がれき類 (コンクリー ガラ、廃ア スファル くず(石膏)	ガラス・コ ンクリー ト・陶磁器 くず(石膏)	廃プラス チック(廃 タイヤ、発 泡スチロー	金属くず	建設混合廃 棄物(安定 型、管理 型)	汚泥(上・ 下水、建 設、その 他)	紙くず	木くず	繊維くず	0	0	0		
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	1,205.40t	1.50t	48.90t	30.00t	6.30t	150.70t	5.40t	305.60t	0.10t	0.00t	0.00t	0.00t	1,753.90t	
	本年度排出量(計画)	1,200.00t	1.00t	45.00t	25.00t	5.00t	130.00t	5.00t	300.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,711.00t	
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う (行った)中 間処理に關 する事項	自ら行う(行つ た)熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら中間処理に より減量 する(した)量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
処理の委託に 関する事項	全処理委託量	前年度実績	1,205.40t	1.50t	48.90t	30.00t	6.30t	150.70t	5.40t	305.60t	0.10t	0.00t	0.00t	0.00t	1,753.90t
		本年度計画(目標)	1,200.00t	1.00t	45.00t	25.00t	5.00t	130.00t	5.00t	300.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,711.00t
	優良認定処理業者へ の処理委託量	前年度実績	9.00t	1.50t	48.90t	30.00t	6.30t	0.00t	5.40t	52.60t	0.10t	0.00t	0.00t	0.00t	153.80t
		本年度計画(目標)	0.00t	1.00t	45.00t	25.00t	5.00t	0.00t	5.00t	50.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	131.00t
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績	1,205.40t	0.30t	24.30t	30.00t	3.10t	150.70t	3.20t	284.10t	0.10t	0.00t	0.00t	0.00t	1,701.20t
		本年度計画(目標)	1,200.00t	0.50t	22.50t	25.00t	2.50t	130.00t	3.00t	280.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,663.50t
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。